

健康経営 チャレンジマップ2025

健康経営テーマ 「良い仕事には健康があってこそ」											
得られること	生活習慣病などの疾病の高リスク者に対する重症化予防及び業務パフォーマンスの低下予防ができる					安心して働きやすい職場の環境			健康活動の見える化	性別特有の症状の軽減	健康に対する正しい知識を習得
評価	実施率	数値	数値	数値	禁煙成功率	発症率	数値(件数) 参加率	数値(件数)	数値(実績数)	実施項目数	参加率
取り組み	□定期職員健診実施 □受診勧奨 □ピロリ菌検査 □特定保健指導の活用 □歯科健診実施 □有所見者に対し医師・保健師による面談を実施	□健康プログラムを用いて管理栄養士、健康運動指導士が支援 □健康プログラム参加者に体力測定の実施(64歳まで) □65歳以上の職員を対象とした□コモ度テスト実施 □歩行速度測定実施 □アプリ(あるくと)を用いて運動促進 □ウォーキングイベントに参加(年2回) □桃の里マラソン大会参加費補助 □健康を意識させるための環境づくり(階段、廊下)	□毎朝の健康体操の実施 □肩こり・腰痛の自覚症状を調査。健康プログラムを用いて管理栄養士、健康運動指導士が支援 □日本理学療法士協会「職場における腰痛予防宣言」事業に参加 □プレゼンティーイズム・アブセンティーズムの状況把握	□ストレスチェック実施 □相談窓口を設置(医師による面接) □睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング □プレゼンティーイズム・アブセンティーズムの状況把握	□雇入れ健診の間診票により喫煙者を把握。喫煙者には「スモークキッズ」の視聴案内と禁煙外来の受診を推奨(禁煙チャレンジのお知らせ配布) □定期職員健診にて把握した喫煙者にも禁煙チャレンジのお知らせ配布 □肺機能検査実施	□インフルエンザワクチン接種の推奨 □B型肝炎ウイルスワクチン接種対象者にワクチン接種実施 □雇入れ健診にて麻疹、風疹、水痘、ムンプスの抗体検査を実施。抗体が少ない職員にワクチン接種を推奨。	□労災発生状況の把握 □職場巡視 □4S活動の推進 □65歳以上の職員を対象とした□コモ度テスト実施	□相談窓口の設置 □両立支援コーディネーターの配置 □復職に向けた支援体制・計画の整備(産業医の意見聴取等による) □慢性疾患診療費補助制度 □仕事と介護の両立支援として組織の方針作成、周知 □仕事と介護の両立支援研修 □仕事と介護の両立支援実態把握調査	□慢性疾患診療費補助 □健康情報の発信・かわら版に健康コラムを掲載(月1回) □院内掲示板上に協会けんぽ「健康マガジン」を掲載(月2回) □eラーニングの活用 管理職、従業員への教育 □健康手帳の配布 □医療関連感染予防に向けた個人記録」(当院オリジナル)を配布	□50歳以上の女性職員に骨粗鬆症検査の実施 □骨粗鬆症予備軍に運動・栄養指導を実施 □女性職員に乳がん・子宮がん検診の推奨。 ・乳がん検診は検診車より実施。 ・子宮がん検診は他院受診の検査費用を全額負担 □卵巣がん検診の実施 □前立せんがん検査 □月経困難症への理解と職場の対応(生理休暇)	□定期職員研修の実施 □定期管理職研修の実施 □女性特有の健康課題に関する研修
目標	□「要治療者」の定期受診100%を目指す □職員の健康問題を支援する体制づくり	□BMI25以上の職員はBMI25未満を目指す □早く歩く、歩幅を広げる □運動の習慣化	□肩こり、腰痛などによる生産性低下、欠勤を防ぐ	□メンタルヘルス不調による生産性低下、欠勤を防ぐ(メンタルヘルス強化) □睡眠の質の向上	□禁煙成功	□十分な免疫を持ち、発症ゼロを目指す	□労働災害発生ゼロ □65歳以上の職員の健康づくり支援	□治療と仕事を両立できる環境整備・支援(育児・介護含む)	□健康活動の見える化による職員の健康意識の向上	□乳がん・子宮がんの早期発見 □骨粗鬆症予防	□ヘルスリテラシーを高め自身や部下の健康管理を行う
課題	□生活習慣病などの疾病の高リスク者に対する重症化予防		□事故発生予防(肩こり、腰痛などの筋骨格系の症状改善) □肩こり、腰痛などによる生産性低下予防	□十分な睡眠がとれていない □メンタルヘルス不調者への支援	□禁煙希望者への支援	□医療関連性感染の防止	□労働災害の発生 □65歳以上の職員の健康課題に対する支援	□治療と仕事両立支援(育児・介護含む)	□職員の健康行動を把握していない	□性別特有の健康課題・健康保持増進	□自身や部下の健康課題に対する教育推進